

編集 発行 愛媛資料ネット (芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛)
〒790-8577 松山市文京町3 愛媛大学法文学部寺内研究室気付
TEL 089-927-9317 Eメール terauchi@LL.chime-u.ac.jp 郵便振替 01690 - 8 - 5497

歴史懇話会を開催

6月20日に、第7回歴史懇話会を愛媛大学法文学部大会議室で開催しました。歴史懇話会は、実際に資料整理作業を体験し、その方法を身につけることを通じて、地域の歴史資料の整理・保存活動を進めていこうとするもので、今回は伊予市の福田寺資料の整理を行いました。今回も松山市を中心に各地から16名の方が参加され、和やかな雰囲気の中で資料の整理方法を学びました。今後も継続して実施する予定ですので、たくさんの方の参加をお待ちしております。



「第7回歴史懇話会」

地域歴史資料学の科研採択について

神戸大学教授奥村弘氏を研究代表者とする科学研究費「大規模自然災害時の史料保全論を基礎とした地域歴史資料学の構築」（基盤研究(s)、平成 21-25 年度）が今年度採択されました。これには神戸資料ネットのほか、宮城資料ネット、新潟歴史資料救済ネットワーク、福井史料ネットワーク、山陰史料ネット、岡山史料ネットなど全国各地の資料ネットの関係者が加わっています。愛媛資料ネットからは寺内が研究分担者として入っています。今年から5年間にわたり「地域歴史資料学」の構築をめざして研究・活動を行う予定です。以下にこの科研の目的を記しておきます。

現在、地域社会の構造転換の中で、日本の地域社会で維持されてきた地域歴史資料は滅失の危機にある。活動期を迎えた地震による災害、地球温暖化に関連する大規模水害の続発は、この事態を急速に進めるものであった。この危機的事態に対処し、歴史の研究の基礎をなす地域歴史資料を保全し、次世代に引き継ぐことは、日本の歴史研究において緊急の課題となっている。そのためには、いかなるものが地域歴史資料であり、地域住民の歴史意識を反映して、いかなる形で残されているのか、それを前提とした新たな保全方法の開発を含めた新たな地域歴史資料論の構築が必要となっている。

本研究では、阪神淡路大震災以来の各地の大規模自然災害時の史料保全論を基礎として形成された地域歴史資料論を全体として総括する作業を集中的に行うことで、地域歴史資料をめぐる現在の危機的状況を具体的に把握し、さらに歴史学に隣接する文化財保存科学等の協力も得て、この状況に対応しうる地域歴史資料論を構築することを目的とする。このことは、今後かならず発生する大地震や大水害等の大規模自然災害時において、保全すべき地域歴史資料について学術的な指針を与えるものであり、日本のみならず国際的な歴史資料保全対策においても大きな意義を有するものである。

愛媛資料ネット総会を開催

本年度の愛媛資料ネット総会が6月20日に愛媛大学法文学部大会議室で開催されました。総会では、昨年度の活動、会計報告が了承された後、今年度の活動方針として、愛媛大学法文学部学部長経費、科研費などの補助金を有効に活用して資料調査・整理活動を積極的に行うこと、今年度も歴史懇話会を継続して開催すること、などが確認されました。また、資料の保存方法・場所等について意見が交わされました。愛媛資料ネットでは総会で出されたこうした意

見をできる限り今年度の活動の中で生かすよう努力したいと思います。

また、総会では本会の名称を「愛媛資料ネット」とし、「芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛」を別称とすることが了承されました。理由は、芸予地震発生から10年近くたち、活動の中心が日常的な資料調査・整理・保存に移っていること、2004年の大洲・新居浜水害にみられるように資料救出が全国的にみても地震発生時に限らなくなっていること、略称の「愛媛資料ネット」が名称として定着していることなどです。

なお、下記の通り、今年度の委員は、代表が内田先生のみとなり、数名の方に新たに加わっていただくことになりました。

代表 内田九州男

委員 大成経凡、川岡勉、川東崋弘、武智利博、徳永高志、永井紀之、西尾和美、西村浩子、松原弘宣、村上正郎、森正史、森正康、矢野達雄、山内譲

事務局長 寺内浩

会計報告(2008・4・1～2009・3・31)

収入	募 金	6、000
	利 子	170
	前年度繰越金	365、653
		<hr/>
	計	371、823
支出	発送費	12、800
	文具費	508
	交通費	7、500
	その他	1、050
	次年度繰越金	349、965
		<hr/>
	計	371、823

調査・整理活動、その他

- ◆ 6月20日に、愛媛大学で愛媛資料ネットの総会を開催しました。それに先立ち、第7回歴史懇話会を開催しました。
- ◆ 7月19日に、愛媛大学の教員・学生、高校教員、高校生など19名が参加して、毎年恒例となっている旧朝倉村満願寺の資料調査を行いました。
- ◆ 前号で、「公文書等の管理に関する法律案」が今年3月3日に第171回国会に提出されたことをお知らせしましたが、6月24日に成立し、7月1日に公布（法律第66号）されました。なお、この法案の全文は国立公文書館のホームページで見ることができます。
- ◆ 今年度の愛媛資料ネットの活動には、愛媛大学法文学部学部長裁量経費、科学研究費補助金（基盤研究(s)、研究課題名 大規模自然災害時の史料保全論を基礎とした地域歴史資料学の構築、研究代表者 奥村弘）が使用されています。

愛媛資料ネット活動日誌

- ・ 4月16日
松山市二津で資料調査（2名）
- ・ 6月20日
愛媛大学で第7回歴史懇話会（16名）
愛媛大学で愛媛資料ネットの総会開催（14名）
- ・ 7月5日
愛媛大学でふすまの解体作業（14名）
- ・ 7月12日
愛媛大学でふすまの解体作業（10名）
- ・ 7月19日
旧朝倉村満願寺で資料整理（19名）
- ・ 8月1日
愛媛大学でふすまの解体作業（12名）
- ・ 9月30日
愛媛大学でふすまの下貼り文書はがし作業（14名）